

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030011

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事業優先度	B		
単位施策	1	雄武観光の売り込み	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	ホテル日の出岬運営支援事業					
事業期間	平成28年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	指定管理施設の安定運営					
事業目標	指定管理施設の維持管理					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	3	税財管理課	
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	ホテル日の出岬運営支援事業補助金				ホテル日の出岬運営支援事業補助金	ホテル日の出岬運営支援事業補助金
	事業費(千円)	29,400	0	0	0	14,700
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	14,700				14,700
実 績 事 業 費	事業費(千円)	14,700	0	0	0	14,700
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	その他	0				
関 連 事 項	特定財源の名称 平成28年度～基金対応	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ホテル日の出岬運営支援事業 補助金 14,700千円
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				指定管理施設の維持管理
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%
		全体達成率	0%	0%	0%	50%
	事業進捗状況					50%

事業名	ホテル日の出岬運営支援事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係主査	宇野敏志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	指定管理施設の安定運営	
【抱える課題やニーズは】	町民健康増進対策としての日帰り入浴料金の据置きに伴う運営の圧迫	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	入浴料金の据置き及びホテル日の出岬の安定運営	① 補助金支出額	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	温泉資源の利用による町民福祉の向上		目標値	14,700千円
			実績値	14,700千円
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営支援補助金	日帰り入浴部門に対する安定運営対策として、運営支援補助金を支出した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ホテル日の出岬の安定運営を図るためにも、補助金は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	補助金の支出により、ホテル日の出岬の安定運営が図られており、有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	日帰り入浴部門に係る減収支援であり、効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全ての方が利用対象である施設の安定運営に寄与するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
運営を圧迫していた日帰り入浴部門に対して補助金を支出することにより、施設の安定運営が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
ホテル日の出岬の安定運営を継続するためにも、今後も計画的に事業を進める必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止